

第1回 持続可能な都市づくり懇談会 発言要旨一覧

発言骨子	要 旨
都心・地域拠点・生活拠点の棲み分け	○都心と地域拠点と生活拠点について、都心であり地域拠点であり生活拠点でもある場所もあるので一体として見ても構わないか？
公共施設配置、土地利用	○新潟市は住みやすく施設が充実していて便利だが、施設は老朽化するので公共施設縮小プランを早く策定して欲しい。
立地適正化計画	<p>○全国的に人口が減る中で、人口維持すら難しく、いったい何処から持ってくるかという議論が大事である。</p> <p>○人を住ませるのか、観光で交流人口を増やし盛り上げるのか、効率化して農業をすところなのかなど、場所ごとに何をターゲットにして人口を維持する、増やす、あるいは減る中でどのように処理するかという議論が必要。</p> <p>○市全体の話をして、よく分からない。場所ごとに、どのような人たちをターゲットにするのかを考えるべき。</p> <p>○まちづくりのスピード感と経済活動などの世の中の変化のスピード感が上手く合っていないと思う。このギャップをどう埋めていくかを計画の中で考えることが大事。</p> <p>○立地適正化計画を策定すると大きな公共事業の補助金の率が割り増しされるとのこと。</p> <p>○道路や市街地再開発事業が新潟市のこれからの人口維持や産業振興に本当に役立つのかどうかを意見したい。</p>
大胆な施策展開	<p>○人口減少は全国的な傾向であるが、政令市の中でも本市は極端に大きな減少があると聞いている。</p> <p>○市に言いたいことは、中途半端なことを止めて欲しい。やるなら、思い切ったことをやって欲しい。</p> <p>○公務員が多いまちは、保守的になるイメージがある。大胆なことができない要因の一つだと思う。</p> <p>○変化を恐れないまちにしないと議論をしても変わらないと思う。</p> <p>○行政の立場からすると、シビルミニマム（市民が生活していくのに最低限必要な生活水準）という大前提があると思うが、大胆にお金を使って制度を改革して欲しい。</p> <p>○県外の方が新潟に来ると、新潟市は素晴らしいと皆さんが言う。自信を持って、持続可能な都市づくりについて、大胆に施策を実行して欲しい。</p>
きめ細かく、スピード感ある対応を	<p>○それぞれの区で色んな面で独自性を出してもらおうと、もっとスピード感のある対応が出来るのではないかな？</p> <p>○区や地域によって木目細かい計画を立てて、もっと速やかにスピード上げてやると。大きいとスピード感がなくなる。</p>

	<p>○私が居住する地区は非常に空き家が多く、このままでは集落が消えてしまう危機感がある。小回りを重要視している。</p>
既存施設の有効活用	<p>○あるものを有効的に使わないと、上手くない。日本海軸、港がある、空港がある、いかにしていくかが第一ではないか。</p> <p>○人口を増やすには雇用の場所が大事。低未利用な公有地を結構抱えていると聞く。土地を所有しているだけでは何も稼がない。</p> <p>○企業から来てもらって法人税を頂く。色々なことを考えないと、今、考えているプランが空回りする恐れがある。</p>
不動産のリサイクルの促進	<p>○今の5年間で人口密度が増加しても、今後5年間、その後の10年間に人口が減ると、土地のリサイクルができなくなる。25年前に白根大通ニュータウンは、正に区画整理が出来て人口が増えたが、今では歯抜け状態となっている。</p> <p>○越前浜での人口増までは言えないが、下げ止まった要素があるはず。かつての上古町は、現状とは違ったが、今では多くの方が起業している。店舗跡も建物のリサイクルが起きている。</p> <p>○不動産のリサイクルが起きているところは、一体どういう要因で起きているのか、郊外にしても中心市街地にしても。</p>
農村集落の維持	<p>○私が住む集落には109軒あり、昔は95%が農業を営んでいたが、今では農業を営んでいる人は30%くらい。私より下の世代（40代、50代、60代）が鉄道駅周辺に家を建て、地元には80代くらいの人々が残って農業をしている。もう何年かすると、みんな帰って来なくなって、20年くらいすると一気に集落が収縮する。</p> <p>○コミュニティバスしか走っていない集落なので、80代でも信号は止まらないし、ノロノロ運転してでも自分で車に乗らなければならないので、交通整備が非常に重要となる。</p>
産業政策	<p>○絞ったら一極集中でとことん突っ込むというくらいの産業政策をやっていないと、まちだけ設計図を作っても、そこに人の活動がないと、まちは成り立たない。</p> <p>○以前、堺屋太一さんが年間予算1%を10年間投入すると、世界に冠たる都市になると言われた。せめて0.1%でもと思う。</p> <p>○今では、航空機産業だのとあるが、これと決めたら集中的に産業政策を行い、若い人たちの雇用を作り、この人たちと連携したまちのあり方を組み立てることが次のステップとしてある。</p> <p>○縮んでいく間はこれで良い。縮みっぱなしは駄目。拡大することも片方で考えることも大事。</p>
雇用政策	<p>○段々、若い人がいなくなる。働く場所が無くなるということから若い人は東京の大学へ行き帰ってこない。</p> <p>○新潟には勤めるところがないと言うが、雇用維持という形の中で、やはり産業を活性化させないと駄目。</p> <p>○交流人口の拡大という枠組みの中で若い人が勤める場所を作る。</p>

	<p>○新潟市は観光地ではなくコンベンション・シティという形で。</p> <p>○新潟市に本当に雇用がないのか疑問を呈したい。有効求人倍率が結構上がっており、この認識は違うだろうと思う。</p> <p>○人それぞれの考え方が多様化している社会の中で、新潟で自分のやりたいことがないのか、もしくはやりたいが給料が安いのか、今後の生活基盤を新潟市で見出せる人の数が少ないのではないのか。東京に出ると、何となく選択が多いから就職してしまうパターンが多いのではないかと思う。</p> <p>○定住する人たちに、教育の世界になるかもしれないが、現状の新潟市を正しく皆さんが認識していないことが一番問題だと思う。</p> <p>○持続可能な部分の根本的な部分で必要なものかもしれないので、研究してもらいたい。</p>
	<p>○雇用はあるが、内定辞退が多い。</p> <p>○会社の魅力がないのかもしれないが、クリエイター等の支援を行っているが、東京へ行ってしまう。</p>
<p>空き家対策 (セカンドハウスの利用の促進)</p>	<p>○平日は都心に住み働いて効率的に色々済ませて、週末や長期の休みには農家付近の空き家で伸び伸びと子供が遊べる環境があってもよいと思う。</p> <p>○長野県では、別荘地的な扱いで空き家が活用されている。</p> <p>○新潟は非常に食が充実しており、農業指導を近所の農家の方がやってくれる制度があれば楽しいのでは。</p> <p>○頑張った地区を表彰する制度を作り、継続的な取組みを促してもよい。単に募集して補助金をバラ捲くのではなくて、成果を出したところにさらに支援するようになると良い。</p>
<p>子育て対策</p>	<p>○子育てと、産業をリンクさせた形のまちづくりをどのように考えていくかという観点が余り入っていない。</p> <p>○生活の拠点の中に子育て中の人たちが居場所を確保していくとか、あるいは子育て中の親子がその地域の中でどこへ出掛けて行けるかなど、まだまだ弱い。</p> <p>○新潟市の特徴だと思うが、外出のとき天候に左右される。子どもを連れて外出するには車に頼る生活になってしまう。むしろまとまった場所に駐車場を用意することが子育て中の親子にとっては、利用しやすい居場所なのかもしれない。</p> <p>○必ずしも歩いて行ける地域の中に居場所を作ることが、適正ということにはならないと思う。</p>
<p>都心に求められる機能</p>	<p>○都心には、やすらぎ堤や港等、身近な所に活用できる空間がある。</p> <p>○一方、新潟市の固定資産税収入の30%を都心が占めている。</p> <p>○拠点は拠点として観光客が訪れたり、ビジネスの拠点という明確な色付けをして、促す施策を都心部には明確に打ち出すべき。</p> <p>○駅南は土地のリサイクルの可能性のある場所の一つだと思う。</p>

	<p>○大型商業施設の開発ということではなく、新潟の玄関口として駅の機能や補完する周辺施設が、新潟駅の機能としては未だ不足しており、空いている土地もあり、高度利用を検討すべき。</p> <p>○都心部だけは、中だけの人だけでなく、外からもお金が流入する魅力的な場所に造り直していくことが、都心部の都市機能として必要性を感じる。あそこだったら投資してもいいという場所に生まれ変わって欲しい。</p>
	<p>○古町と万代がつながり、この沿線に店舗が張り付くことが望ましいが現状は、点と点を結ぶだけになっている。</p> <p>○榎谷小路沿線に積極的に民間投資が起こるよう、建ぺい率が緩和され再開発し易い地域を形成できたらと思う。</p>
災害時の土地利用	<p>○熊本市は災害や地震が少ない都市と言われていたのに、最近地震が起きた。</p> <p>○災害からの立ち上がりにおいて土地利用の計画が明確になっていないと、サステナビリティを目指すのならば、もう一つ柱が必要なのでは？</p> <p>○県と市は災害の受け入れ態勢が十分出来ていると言うが、同時に、東京の一極集中、新潟市が受け入れると言うがこれをどうするのか？</p>
人口減少対策	<p>○人口減少問題では、自然減対策と社会減対策がある。</p> <p>○社会減対策としては、人口の定着化を促進するのか、交流人口を増やすのはどうするのか、インバウンドという切り口もある。</p> <p>○仙台市では、三世代に対し補助金を出している。新潟市でも同じようにすれば、少しは貢献できるのではないか？</p> <p>○結婚は大きな問題。婚活に対して市も積極的に頑張ってもらいたい。</p>